

WORK設立40周年記念として クラシカルな4スポークモデルを発売!!

1

Parts Selection

TEXT: ISAO KATSUMORI (ZOO) / 藤森勇夫 (ズー)

PHOTO: RYOTA-RAW SHIMIZU (FOX BOOKS) / 清水良太郎 (フォックス ブックス)

WORK
EQUIP40

EQUIP 40 WORK 40TH ANNIVERSARY NEW ITEM.

2017年、創立40周年を迎えたワーク。エクイップ40はそのメモリアルモデルだ。往年のレーシングホイールをモチーフに表現されたクラシカルテイストと最先端テクノロジーの融合。ワークの歴史と技術力の全てが手中にできる。

TEXT: ISAO KATSUMORI (ZOO) / 藤森勇夫 (ズー)

PHOTO: RYOTA-RAW SHIMIZU (FOX BOOKS) / 清水良太郎 (フォックス ブックス)

COOPERATION: WORK/ワーク <https://www.work-wheels.co.jp/>



最新・注目パーツを厳選!!

Nostalgic **SPEED**
Parts Selection



●エウップ40のカラーバリエーション(ディスク部)は、スプリットゴールドとブラックシルバーの2タイプ、リムカラーはバリエーションが豊富で、写真はスプリットゴールドとベージュにムラチカをスチムドカラーでラッピングしたデザインに重要な場合の仕様だ。●クラシカルステルを演出するピアスポットとワッシャー、さらにエアバルブのカラーもエウップ40は自由に選べる仕組み、写真は黒のピアスブラックワークシューマータクのバリエーション仕様。



●カスタムの個性化に対応した多品種、少量生産。さらに、多彩なオプションにカスタムサイズオプション、海外市場におけるランゲルマンサーキットなどにも早く取り扱われる、40周年の記念モデルも、おなじみカラーバリエーションは豊富に存在。●フルコンポジットペーパーストロールのバリエーションを組み合わせたタイプは、もともとクラシカルデザインが楽しめるオプション。●存在しないかわらわらスプリットゴールドスチムドカラーバリエーションを含む仕様もバリエーションが豊富。●従来の前面ブレーキ定着のモデルには、スプリットゴールドとブラックシルバーの2色仕様が。



●40周年のレーシングホイールの空間的な錯覚感、ホイール性能を低下させることなく再現したエウップ40。写真はフルコンポジットペーパーストロールのバリエーションに、黒のピアスブラックワークシューマータクのバリエーション仕様。●クラシカルな素材感もリアルに再現したエウップ40。写真はスチムドカラーとベージュの2色仕様が、ピアスポットとワッシャー、さらにエアバルブのカラーもエウップ40は自由に選べる仕組み、写真は黒のピアスブラックワークシューマータクのバリエーション仕様。

SIZE	STANDARD A dia	DEEP RIM O dia	BIG CALIPER T dia	PRICE (税別)
150/55Z	130A	130A	130A	120,000
150/55Z	140B/30A	140B/30A	140B/30A	130,000
150/55Z	160C/30A	160C/30A	160C/30A	140,000
150/55Z	200E/160C/30A/160A	200E/160C/30A/160A	200E/160C/30A/160A	141,000
150/55Z	260F/160C/30A/160A	260F/160C/30A/160A	260F/160C/30A/160A	142,000
150/55Z	410G/200E/160C/30A/160A	410G/200E/160C/30A/160A	410G/200E/160C/30A/160A	143,000
150/55Z	410G/200E/160C/30A/160A	410G/200E/160C/30A/160A	410G/200E/160C/30A/160A	144,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	145,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	146,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	147,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	148,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	149,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	150,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	151,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	152,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	153,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	154,000
150/55Z	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	510H/200E/160C/30A/160A	155,000

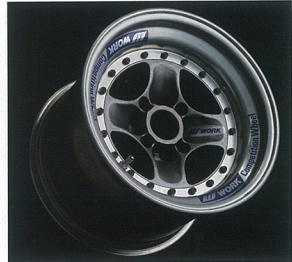
販売店 西日本コーセルセンター TEL.06-6746-2859 中国コーセルセンター TEL.052-777-4512
東日本コーセルセンター TEL.048-688-7555 https://www.work-wheels.co.jp/



40年の歴史の最大規模モデルとして完成させたエウップ40。サイズは今のところ15インチのみの展開。写真はホイールに装着されているフロントリムと異なるカラーリングの1100セット限定の特別仕様だ。

最先端の機能を保持した 異色のクラシカルレーシング

かつての作品を今によみがえらせる「復刻版」をコンセプトとするホイールは多い。しかし、デザイン以外に魅力を再現するモノはほとんどない。当時の遺作を再現するだけなら、それは単なる旧作の復元。現代の成型技術を持つてれば、たやすくカタチにできる。ワークが40周年を記念して開発したエウップ40(ワークフォーティ)は、そんなノスタルジックな気分にとどまらず、40年だけの復刻版ではない。40年の歴史の重みと常に最先端を走る技術力。そして機能部品としてのホイール性能をすべてが味わえるワークの集大成ともいえる作品だ。既存のエクイップシリーズ(01や03)と異なり、センターロックのレーシングモデルとプロレス用の本気度を感得するデザインアプローチ。そのウォールは、ワークがこれまで輩出してきた全てのホイールの源流が、あくまでもモーターレーシングの世界にあることを物語っている。ワークが培った技術の全てを注い



エウップ40のデザインモチーフとなったワークのレーシングホイール。歴史的にも、最前端的にも、開発思想はこのホイールが源流。エウップ40に込められた強い思いがうかがえる。

だこのホイールならではの魅力は随所に見られる。たとえば、当時のレーシングモデルの表面処理は、先進かつ独自の技術があればこそその風合が実現。当時と比較し、精度が格段に増した製造技術の跡を、強度や剛性を低下させるとなく、あえて当時風にさせる。その演出で、歴史観と革新の技術を見事にシシシロさせている。パフォーミングへのこだわりという面では、ピアスポットの個数や配置も見逃せないポイント。クラシカルな雰囲気と現代の強度を両立させるため、スプリットゴールドとベージュの2色仕様に計算したレイアウトや、ピアスポットを単なる飾りとする一般的なドレストアップ志向の組み立てホイールとは、一線を画する作りだ。さらに、目には見えぬ部分にもワークならではの技術が息づく。それがリムに取付けられるハンプの機能だ。万が一の際のウェルへの脱着や傾く向きももちろん、平常時は縦方向や横方向の負荷に作用し、ごくわずかな壁面でタイヤを強く押しこむような機能が与えられたハイブリッド技術。タイヤに負担をかけないフラットピットビームを採用しつつ、クルマの走りや安全性を大幅に向上させる高度な設計で、機能のにもまさにホイールメーカーのアニバーサリーモデルにふさわしいスペックを誇っている。クラッシュに多対応可能なジョイント。多様なユーザーの要望に応えるジョイントならではのオプション。カスタムサイズも展開する。異色のクラシカルレーシング「エウップ40」。そのキャッチフレーズは文字通り過去と未来の交差。ワークの歴史の重みと洗練のホイール技術が満ち溢る逸品だ。

